

駅周辺を中心としたエコ・コンパクトな都市構造の実現に向けて

資料 1

人口減少を見据えた都市経営

【既存インフラを最大限に生かした、個性と活力あふれるまちづくりを推進】

都市計画に対する基本的な考え方

京都市都市計画マスタープラン
(平成24年2月策定)

京都市の現状と動向から導き出された課題

人口動向

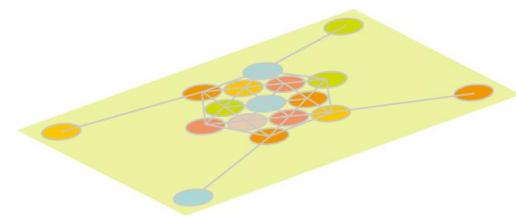
持続可能な都市の構築

ものづくり都市の魅力向上

国際文化観光都市の魅力向上

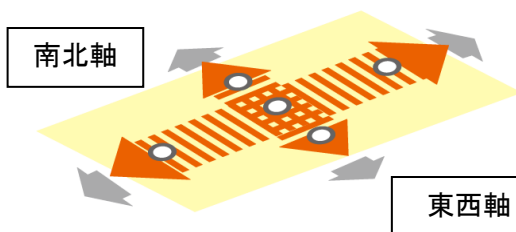
京都市における将来の都市構造 ～エコ・コンパクトな都市構造～

これまでの保全・再生・創造の土地利用を基本としながら、交通拠点の周辺に都市機能を集積させるとともに、地域コミュニティを基本とした生活圏の維持・構築を図ることで、それぞれの地域が公共交通等によりネットワークされた、暮らしやすく、地球環境への負荷が少ないエコ・コンパクトな都市構造を目指します。



相互につながる個性的な地域の形成

- 個性的な地域の形成
- 地域をつなぐネットワークの強化

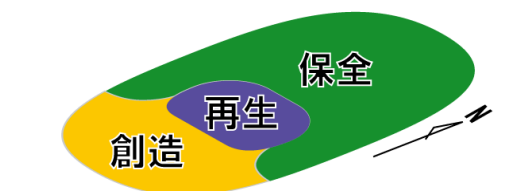


南北軸

東西軸

都市活力の向上と低炭素社会を実現する都市構造の形成

- 交通拠点を中心とした都市拠点の強化
- 地下鉄をはじめとする鉄道やバス等の公共交通をはじめとした都市軸の活用



京都市の特性を踏まえた土地利用の展開

- 保全・再生・創造の土地利用
- 山間部から市街地内部にかけての段階的な空間形成

政策融合

関連する分野別計画

- ・「歩くまち・京都」総合交通戦略
- ・京都市環境モデル都市行動計画
- ・京都市地球温暖化対策計画
- ・京都市地域防災計画
- ・京都市長寿すこやかプラン
- ・京都市住宅マスタープラン
- ・京都市MICE戦略
- ・京都市新価値創造ビジョン 等

具体的取組との連携・調整

平成25年度の検討委員会で市内130駅の種類を決定

公共交通機関によるネットワーク

市内外から多くの来訪がある駅周辺
(広域拠点)

市内からの来訪があり地域の拠点となる駅周辺
(地域複合拠点)

日常生活を支えている地域

駅周辺における都市の活力や魅力を高める都市機能
(魅力づくり拠点)

ものづくり都市
(生産、流通施設)

観光都市
(観光・サービス施設)

文化芸術都市
(文化・交流施設)

大学のまち
(学術・研究施設)

既存の鉄道駅の
徒歩圏に含
まれない地域

社会情勢の変化や
まちづくりの動向を
踏まえ、地区計画等
により個別に対応

短期的目標

- 拠点の特性に応じた、さらなる都市機能の集積
- 新たな拠点となる駅周辺への都市機能の誘導

中長期的目標

- 都市の品格と魅力の向上
- 個性と活力あふれるまちづくり
- 経済の活性化、安定した雇用の創出

平成26年度の取組

都市計画の見直し対象駅周辺の選定
(どの駅周辺を見直し対象とするか検討)

都市計画の見直し内容の策定
(どのような見直し内容とするか検討)

平成27年度の取組

都市計画の見直しの実施(都市計画決定手続)
・早期に見直しの効果が見込まれる駅周辺

平成28年度以降の取組

継続的に見直しを検討
・条件が整えば見直しの効果が期待できる駅周辺

その他
・社会情勢の変化やまちづくりの動向を踏まえ、適時適切に都市計画を変更